

第9回議会報告会における市民意見・要望等について

第1班：真和志地区（会場：那覇市保健所）

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
オンブズマン制度について、なぜ那覇市には、オンブズマン制度がないのか。	沖縄県にはありますが、那覇市にはオンブズマン制度はありません。ご意見として、賜りたいと思います。
予算の報告について、本会議で反対意見があったとの事だが、具体的な内容を教えていただきたい。	当初予算には、新市民会館に関連する予算もあり、それについて反対がありました。
第4次総計のチェック機能について、第4次総計では、どのくらいの頻度でチェックがあったのか。	那覇市議会基本条例ができて、第4次総計の総括を初めて審議を行ったところ、今の時世についていけない指標が多々あり、5年でも3年でも良いですが、中間に見直すべきだと、提言いたしました。
生活保護について、生活保護を受けていると病院を選ぶ権利がない。病院にいつて治らなければ、普通はほかの病院に行ったりします。 生活保護を受けていても、医師を選ぶ権利、病院を選ぶ権利という人権をちゃんと認めていただきたい。	生活保護では、医療券を発行するのはわかりますが、病院を指定することについては調べないとわかりませんので、後日回答いたします。 ※補足 保護管理課に確認しましたら、市が病院を指定することはないようです。 生活保護法の指定医療機関として、那覇市内だけでなく、市外・県外に多くの医療機関が登録されています。ほとんどの医療機関が登録されており、登録されていない医療機関は稀とのことなので、十分に医師及び病院を選ぶことが可能です。
待機児童について、保育所とか学童、児童クラブも待機させられているとよく聞く。特に保育所について、100%とはいかないにしても、もう少し解消できないか。保育士不足も原因の一つだと考える。	平成29年度末までに、約2,500名の保育定員の増員を図るため、保育園、小規模保育事業の創設、公立幼稚園の認定こども園化等を推進しています。保育士に関しては、働きやすい職場環境の整備や賃金の改善などの取り組みを継続し、待機児童解消にも努めます。
一括交付金について、消化できなくて減額したという話があったが、本当にもったいないと感じる。一括交付金は、金額がわかっているわけだから、お金が来たら計画を立てるのではなく、前もって計画を立てておく必要があるのではないか。	沖縄の特殊事情、沖縄の振興に資すること、他の補助メニューとダブらないと3つの条件で、当初は観光をメインに取り組みましたが、福祉分野も使えるようになりました。議会でも議論し、生活者視点の提言を議会はもっと拾わないといけないと考えています。

第 1 班：真和志地区（会場：那覇市保健所）

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
行政が計画を立てるにしても、市議会が常に監視して、大いに口を出すべきだと思う。第5次総計からは、大いに議会が絡んで、積極的に意見を言っていたきたい。	これまでの総合計画は、策定までかわりはありませんでしたが、議会基本条例を定め、総合計画が議決事項となり、議会も市民の代表として総合計画策定にかかわり、しっかり計画をつくっていきます。
配布資料から、第4次総合計画の基本構想の中で、「基本理念」と「都市像」があるが、これは一番大事なポイントだと思う。教えていただきたい。	第4次総計の基本理念、「なはが好き！みんなで創ろう子どもの笑顔が輝くまち」、サブタイトルで「亜熱帯の自然と文化が息づく、自治・協働・平和都市をめざして」とあり、6つの都市像は、「心地よいつながりでつくる自治・協働・平和都市」「地域力を活かし、生きがいをもって支えあう健康都市」「人・自然・地球にやさしい環境共生都市」「子どもの笑顔あふれる、ゆたかな学習・文化都市」「人も、まちも生きいき、美ら島の観光交流都市」「安心、安全で快適な亜熱帯庭園都市」となっています。 この第4次総計は、基本構想、基本計画、実施計画と3層構造になっています。現在、議論中の第5次についても同じような3層構造で、議会でも議論していきます。
配布資料から、私は首里に住んでいる。文化と伝統と歴史を感じる那覇市のまちづくりというところで、すごくいいところだと思っている。ただ緑が少ない。観光客が多くなっているが、本当にそのまちづくりでいいのか。外国人から尋ねられて答えられるか。簡単な英語や中国語とか、あいさつ程度でもいいが、そういうところの啓発が見えればいいと思っている。	首里でリングムイの話で、蓮の池という今の首里公民館の跡はリングムイという。イユグムイとリングムイと、龍潭池と蓮の池のリングムイ、文化が消えていく状態にあります。委員会でも文化の継承について審査をしているところです。 県立博物館跡地の、中城御殿の復元については、県で予算をつけて取り組んでいます。那覇市としても対応していきたいと思います。 また、首里カトリック幼稚園内に、御茶屋御殿という遺跡があります。ここは文化財指定になっていなく、今後、世界文化遺産登録に向けて、市としても議会としても提案しながら進めていきます。
配布資料から、産業の振興について、ワーキングプアとか子どもの貧困問題とかというのは、産業の振興について本当にどう捕らえているのかが見えない。那覇市は、産業振興策をどう考えているのか。	資料にある産業振興は、伝統工芸の後継者づくりについてですが、後継者づくりにとても苦慮していることから、人材育成を強化するよう求めています。 城間市長は、経済政策ということで二丁目1番地と今年度掲げていて、様々な新規事業を立ち上げているところです。詳しくは那覇市のホームページ、また、経済新聞というのを新しく市が発行し、全戸配布することになっていますので、確認していただきたい。

第 1 班：真和志地区（会場：那覇市保健所）

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
総合計画の話ですが、中間地点で検証に入るとの事で、そのときに市民を巻き込んで欲しい。総合計画は、まちづくりの設計図とも言われていて、議員にとって重要なものだが、市民にとっても重要なものと考え。総合計画に市民をもっと巻き込んで欲しい。	那覇市では、総合計画の策定根拠となる総合計画策定条例が策定されました。条例の前文に議会で修正を加えて、市民意見の反映という条文を盛り込みました。今回の第5次総計に関しても、市民の意見を反映させる形で、少なくとも議会は取り組んでいきたいと思っています。
市民の意見を入れていくというが、パブリックコメントとか、おそらく少ししか書けない。総合計画をつくる時、ただ文書を出すだけでなく市民を招いて話をする場、例えば、自治会のメンバーが代表で発言するとか、障がい者の代表が発言するとか、とにかく市民が話をする場をつくってほしい。	第5次総計に関して、那覇市では市民や学生を集めて市民提案をやってもらっています。これからも様々な関係団体とのやり取りを計画されていると聞いています。議会でも市民意見の反映ということで対話ができるように、議会内でも検討していきたいと思います。
相談したいことがあるとき、議員に手紙を出したり、会って相談したりしていいのかどうか、教えていただきたい。	議員は、市民の皆さんの代表です。要望や相談について、前もってお電話いただき、時間を調整し、遠慮なさらずお越し下さい。

第 1 班：真和志地区（会場：那覇市保健所）

アンケートより（要旨）	説明および今後の対応
生活保護について、最初受ける病院を市が指定します。保護受給者の医師を選ぶ権利、病院を選ぶ権利を認めてもらいたい。 憲法第 13 条の人権で保証されていると思います。	保護管理課に確認しましたら、市が病院を指定するということはないようです。 生活保護法の指定医療機関として、那覇市内だけでなく、市外・県外に多くの医療機関が登録されています。ほとんどの医療機関が登録されており、登録されていない医療機関は稀とのことなので、十分に医師及び病院を選ぶことが可能です。
資料がより詳しくして頂けたら嬉しい。	那覇市議会の中でも、議会報告会のテーマについて、議論を重ねています。市民の皆さまにわかりやすい内容にできるよう努めたいと思います。
今後は、市民も積極的にまちづくりに参加すべきだと思います。ぜひ議員の皆様も市民参加を後押ししてほしいと思います。よろしくお願いします。	これからも積極的に協働を推進していきたいと思います。
ボランティアグループ（フレンドサポート）の代表として活動しています。弱小市民グループです。だんだん福祉システムの何が問題かわかってきます。そもそも権利を守るシステムがありません。成年後見（社協の）権利擁護。英英辞典で確認するとそんな意味でない。日本でゆがめている。	ご意見として承ります。
報告について、わかりやすくしすぎて情報不足。	那覇市議会の中でも、議会報告会のテーマについて、議論を重ねています。市民の皆さまにわかりやすい内容にできるよう努めたいと思います。
第 5 次総計で中間評価をしっかりとお願いします。	第 5 次総合計画においては、中間で総括・検証を行えるような仕組みを取り入れるよう、市長へ提言いたしました。
那覇市の「協働」について、身のあるもの（お題目でなく）にするためチェックをお願いします。単に「協働はどうなっていますか？」質問をお願いします。	これからも積極的に協働を推進していきたいと思います。

第2班：首里地区（会場：沖縄県総合福祉センター）

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
老人福祉センターについて、現在、月・水・金の送迎バスを毎日にしてほしい。 那覇市民、60歳の老人がみんなお元気だったら、この医療費も相当抑制できると思う。 まず視察にいらっしゃって、実情をこの目で確認していただきたい	教育福祉委員会でも検討させていただいて、ぜひとも現場に行って、直接現場の声をまた改めてお伺いしたいと思っております。
学校現場における性別によらない名簿の推進を何度も要請するが一向に進んでいない。	議会としてもこれから性差によらない混合名簿を議会の中でもしっかりと訴えていって、市長にぜひ取り入れていただきたいということを要望していききたいと思います。
陳情の回答について、陳情を出した人には返事が来ない。回答内容も、ピント外れのような返事である。陳情が採択されたら、処理状況は陳情者に対して採択されましたという返事が来ているのか、フォローがどうなっているのか。	陳情の処理にあたっては、大変申し訳ないと思いました。議会としてもしっかりとその辺を対応させていただきたいと、感じました。
交通体系の件でバス路線の時刻表が破れかかって時間やルートがわからない。	バス会社とも連携して、時刻表等をしっかりとなたにでもわかりやすいように、私達も委員会の中でしっかり提言をさせていただきたい。交通弱者の方はどういうふうに公共交通を利用したらいいのかという話も踏まえて、議会でも議論し、市長へ要望していききたいと考えている。
以前乗っていたバスと路線が全然違ったり、バス停の名称が勝手に変更されたりして、お年寄りには路線バスを利用しにくい。 もっと利用しやすい、お年寄りにやさしい交通体系をつくっていただきたい。	利用しやすく、高齢者にも優しい交通体系を実現していけるよう市長へ要望していききたいと思います。
いろんな自治会団体が地域見守りをしようとしても予算がなく、なかなか広がらない。 人と人とのつながりを増やしていく場づくりをやってほしいということならば、予算をつけてもらわないと動きにくい。	介護事業の設計図を作っている国に対し、介護制度の設計の不十分さを指摘しながら、今後とも地域のみなさんからの切なる要望を議会に出していきたいと思えます。
保安灯に関して、設置の補助はあるが、電気料の補助は3割ほどしかない。保安灯を増やしていくと電気料が増えます。電気料の補助をもっと増やしてほしい。	那覇市の地下の駐車場は有料になっており、電気料の補助という形で、一部だけ充てているというお話があります。 市民の皆さんからの声ということで、ぜひ今後も提言していききたいと思います。

第2班：首里地区（会場：沖縄県総合福祉センター）

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
地域の側溝が土砂で詰まってしまって、かなり臭いがきつくなっている。側溝のそばの住民が役所のほうに言ったらいいのですが、市道ではないため自身でやるように言われた。 なんとか行政がかかわって清掃ができるように、地域の人たちとの協働での作業でもいいし、なんとかできないか。	詳しい場所等を聞かせていただいて、こういった対応ができるかを、当局に確認しましたが、当該道路は私道に当たり、地権者の責任として管理すべき場所であり、対応は困難であるとの回答がありました。
那覇市の職員は一体どういう仕事をしているのかをなかなかつかむことができない。那覇市職員の仕事を市民に上手に伝えることが大事であると思う。今やっている方法以外に、全ての市民に伝わるような取り組みを総合計画に入れることはできないか提案したい。	現在、メールマガジンというものを配信しています。また、SNSもあって、ホームページ上でいろんな情報も伝えています。ぜひ皆様からでもいいご意見、アイデアがあれば、私たちもお伺いして、対応していきたいと思います。
金城ダムの通り沿いにある自治会ですが、(バスの運行が) 午前と午後の2便ずつ、昼は全くない。既に高齢世帯が不便だからなどの理由で2組ぐらい移転している。地域のことを考え配慮をよろしくお願いします。	那覇市の交通体系を全部考えていく上で、モノレール、乗合タクシーも含めて、ますます議論を深めて、皆さんがご利用しやすいような交通体系を構築するために我々も努力し、市長へも要望していきたいと思います。
児童の放課後支援総合プロジェクトというものがあり、学童に入れない子どもたちの支援をボランティアでしようと思っても使用料等の問題で場所がない。学校や公民館に働きかけて、子どもたちの教育を支援していただきたい。	課題はたくさんあるが、例えば公民館しか場所がなかった場合に使用料を減免などできないかといった議論も進めていき、一緒になって考えさせていただきたい。
首里城観光で車が増えてきている。クルーズ船が寄港すると、レンタカーや、時間によっては観光バスが多く通行し車が渋滞する。 道路を拡張しない限り、車が入れる全体量は決まっている。子どもたちの安心安全の面からもぜひ交通問題を担当課につなげてほしい。	交通体系、交通環境を整備するためにこういったことが必要なのかもまだこれからの議論になる。ご意見をしっかり受け止め、交通渋滞問題の解決に向けて市長へ要望していきたいと思います。
働き世代の特定健診の受診率に関する指標設定が、大体全国では70%を目標にしているという中で35から40というのは、全国的に低い。	行政として、一番低いとわかっている世代に対して数字を具体的に算出しておらず、全体の数字しか見ていない。30代、40代の数字を粘り強くもっと追究すべきだというのが、第5次総合計画に向けた提言での表現になっています。

第2班：首里地区（会場：沖縄県総合福祉センター）

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
がん検診を4月から検診を受けさせようとしたら、後期高齢者の方はがん検診のはがきが来ていない。4～6月の年度が変わったときにやったほうが受診率は上がると思う。早めに郵送していただきたい。	1月～3月あたりから4～6月の特定健診に向けた取り組みができるよう、非常に検討すべき意見だと思う。ぜひ議会全体としてもこれについては深めていきたいと思う。
総合計画について、実際に行政に対して皆さんがいつ、どこで提案しているのですか。	第5次総合計画に向けての審査、そして第4次総合計画の総括について、既に委員会のほうで当局を通じて要請しております。またそれを取りまとめて、先日、市長に提言いたしました。 これを踏まえて、行政側から次の10年後の計画についての素案が上がってきます。それをまた各委員会で議員がこれを審査して、議員が改めて提案をしてという形でつくられていくことになります。その際に、疑問があれば提言していただいて、ご意見、ご要望をお寄せください。

第2班：首里地区（会場：沖縄県総合福祉センター）

アンケートより（要旨）	説明および今後の対応
市民から出たいいくつかの意見（できれば全て）は必ず当局に伝え、何らかの対応策を講じてほしい。	これまでの議会報告会において、市民の皆さまから出た要望で特に重要として選定した要望を市長に伝え、回答を受けています。 また、前回（第8回）の議会報告会から報告書において各委員会での対応なども報告しています。
高校生、出来るとしたら大学生まで学費の無償化に持っていければと思います。 貧困家庭の子どもさん 例えば修学旅行への費用、制服購入等の金額助成金が算出くださればと思います。	問題になっているこどもの貧困に関連しても、所得制限なしの高校生・大学生までの学費無償化については、今後も課題だと考えております。 議会の中で給付型の奨学金制度についての議論もされています。 小中学校の修学旅行費については、就学援助費より一部支給を行っております。 平成28年度からは、小中学校の新入学用品費を引き上げています。なお中学校については、制服購入にあてられるよう、入学前に一部支給ができるようになりました。それでもまだまだ十分とは言えない金額ですが、財源が伴うことですので、すぐに金額の増、全額助成は困難ですが、今後とも粘り強く要望していきたいと考えております。
もっと地域住民にわかりやすくかみくだいて報告、説明してほしい。 ぜひ、地域の声を行政にも反映させてほしいと思います。	那覇市議会の中でも、議会報告会のテーマについて議論を重ねています。わかりやすい内容にできるよう努めていきます。
駐車場が有料となっているのは仕方がないが、高すぎると思う。 3時間で2,000円超。生活困窮者には割引制度が必要ですね（導入済みならすばらしい）	本庁舎の駐車場では、駐車料金の免除対象者を決めています。全額免除の対象者は、「障がいのある方及びその介護者」、「予防接種、乳幼児健診等で訪れた方」などで、60分以降免除となる方は、「市の責任により対応・処理が60分を超えた場合」や「議会中の本会議等を傍聴した方」は、60分以降の駐車料金は免除となります。 また、駐車場の貸付に伴う収入は、市内各自治会が管理する街灯の電気代として補助しています。
参加者が少ないので増える工夫が必要では？	多くの市民に参加いただけるよう検討していきたいと思います。
具体的な事業の説明（予算が増えたとか、減ったことなど）が欲しい	那覇市議会の中でも、議会報告会のテーマについて、議論を重ねています。市民の皆さまにわかりやすい内容にできるよう努めたいと思います。

第2班：首里地区（会場：沖縄県総合福祉センター）

アンケートより（要旨）	説明および今後の対応
税金は、格差がなくなるように予算を考えるべきではないか	ご意見として承ります。議会として議案、予算をしつかりとチェックしていきます。
意見要望等について、定期的に確認して、定期的に報告していただきたい。	ご意見として承り、今後議論していきたいと思います。
市民の意見をよく聞き議会で反映して頂きたい。 現場主義というか、地域をよく視察して是非議会に活用してください。	今回の議会報告会でいただいたご意見を含め、市民皆さまの声を伝えていくよう努めていきます。
福祉センターの送迎バスを毎日運行することによって健康長寿の方が増え医療費の抑制につなげてほしいです。	市内7箇所にある老人福祉センターを、2地区に分け、2台のマイクロバスで、一日おきに巡回運行しています。毎日運行するとなると、バスの購入、人件費、バスの駐車場の確保等、財源が伴いますので検討が必要になりますが、市議会としても、市長に要望いたします。
調査したとか、提言の必要があるという文言が多いが、その中身の具体的な内容がもう少し欲しい。	ご指摘ありがとうございます。わかりやすい内容にするよう議論を重ねていきたいと思います。
議会（議員）だけでなく、市長、副市長たちと語る会を地域ごとに開催して（対話集会）ほしい！	「跳びだせ！市長室」や「市長とゆんたくタイム」などで、市長自ら各種団体や地域などに出向き、団体が設定するテーマや協働によるまちづくりについての意見交換などを行っています。

第3班：本庁地区（会場：津波避難ビル）

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
旭橋近辺で外国の観光者をよく見かけます。 先進都市ではボランティアの方が中国語、英語というタスキをかけて観光客がいっぱい集まる現場にいて、それぞれ対応している。観光都市を目指す具体的なものを市民が見える形で進めてもらいたい。	窓口という形で、例えば観光協会の本部をてんぶすのところに設置したり、いろいろ対応をさせていただいております。私どもも先進事例をどこまでできるか、議会でも議論できればなというふうに思います。
以前、地区のシンボルである木を自治会に話もなく役所が切ってしまった。 歩いて楽しいまちづくり、木をもっと緑を大切にしたいと思います。	自治会との協議がなかったというのは、これは1つの反省点だと思っています。今後、担当課にもしっかりと話し合いをした上で実施をするよう、議会から話をさせていただきたいと思っています。
沖縄県の東西の公共交通軸としてのLRTの話が出てきてはいます。話ばかりで終わらず踏み込んだ形を考えてほしい。	ぜひ、実現できるように、研究をさせていただいて、頑張っていきたい。 また、今、与那原町、南風原町、西原町、そして那覇市の議員でそういう勉強会も立ち上げている現状であり、市長へも要望していきたいと思っています。
2025年問題、75歳以上のお年寄りが800万人、一気に後期高齢者になってしまうという大問題です。これについて那覇市がどういうふうに審議をされているのか。	議会で議論をさせていただいて、もっともっと高齢者の方々がまちに出るように施策をいろいろと検討させていただきたい。
公共交通（LRT）が整備されていけば飲酒運転ワーストの解決に向かっていくはずである。 市議というよりも一市民目線で考えていただきたい。	LRTの実現に向けて議会としても全力で取り組み、市長へも要望していきたいと思っています。
自治会加入率を上げるべく、何か方策を考えていただけないか。	細かい具体的なものも必要だと思いますので、ご意見があったということを議会の然るべきところで伝えさせていきたい
朝の通勤時間帯に新都心公園のところによく観光バスが何台か縦列でとまっていることがある。まちづくり協議会でこの話をしたこともあるが一向に変わりません。	バス待機場所の実証実験を行ったり、観光バスの皆さんの自主努力とかもされている面もありますが、しながら、まだまだ課題がある。議会でも多くの議員が議論し、厚生経済委員会としても先進事例の視察を行っている。バス駐車による交通渋滞等も含め、解決に向けて市長へ要望していきたいと思っています。
防災無線の件に関して、波浪警報とかというのが那覇市内で流れたことがあって、海に囲まれていない那覇市で流す必要はないと思う。 竜巻警報とか、竜巻が起こるであろうという予報などを流したほうがいいのではないか。	防災無線は那覇市だけではなく、県、国との連携の中でやっておりますので、所管の委員会審議などで十分に議論をして伝えたいと思います。

第3班：本庁地区（会場：津波避難ビル）

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
モノレールはスペースが狭く、観光客の荷物などでさらに狭くなる。観光客専用の時間をつくるとか、または観光客の荷物だけを置く場所をつくるとか、そのようにしたらもっとよくなるのではないかな。	沖縄都市モノレール株式会社としては、そのスペースを置くところを少し広げたりするような努力は今実際にやっております。 しかしながら、年々観光客が増える中で解決できない問題もありますので、沖縄県、那覇市、民間の三者がよく話し合って、どういう状況が一番いいのかというのを今後検討させていただきたい。
新都心公園駐車場が有料化になったが、1時間は無料という制度なので、1時間経ったら一度車を出してすぐUターンして入れ直し無料を貫こうという人たちがいる。以前、そのような車とぶつかりそうになって危険を感じる。 また、駐車場が満車になると片側一車線がふさがれ、公園利用者以外の車が反対車線にはみだして逆走し大変危険。 3年試験をするといっているみたいだが、安全対策をとった上で検証をこのまま続けていくのかというのを、改めて検討をお願いしたい。	どういう対策がとれるかというのを検討させていただきたいと思います。
今民間団体を中心に、沖縄県の昔の映像、那覇の映像とか、8ミリ映像の収集を結構動いて、先日沖縄国際映画祭において「HAPINAH(ハピナハ)」で、8ミリ映像の実写会がありました。これは次世代に伝えるべき映像ではないかと思います。 民間レベルではなくて、那覇市で文化振興の視点で8ミリ映像とかを収集して、地域教育、観光とか、次につなげるような事業化もそろそろ考えるべきではないのか。きちんと那覇市で歴史博物館を中心にして、那覇市の百周年事業という位置づけを打ち出して、より民間とタイアップすることが必要なのかなという提案です。	沖縄の貴重な文化財を残すために、8ミリや写真などの収集を行政も本腰を入れてやっていくときにきたのではないかなと感じています。 また、これは今後議会で当局ともいろいろ調整をしていって、市全体として動いていくべき課題かと思います。貴重な提案として承りたいと思います。
第4次総合計画について、わからない方が結構多くなかなか伝わってない。 もう少し積極的に総合計画、また、那覇市の現状の課題について、各地域に情報共有して意見交換をする場、那覇市がもう少し地域の課題にきちんと入り込んで一緒に議論をするような、一定のルール化が必要ではないかな。	おっしゃるような縦横無尽にいろいろな場で話し合いを持つことができるように、市議会としてもこれから提言をしていきたい。

第3班：本庁地区（会場：津波避難ビル）

アンケートより（要旨）	説明および今後の対応
各委員会の提言を受けて、市担当課（職員）がどのように対応しているのかを、職員（担当課）の説明を拝聴できればありがたい。	議会報告会は、議会で行われた議案等の審議の経過及び結果などを市民へ報告し、意見交換を行う場となっています。今後も多くの市民が参加しやすい、議会報告会に努めていきます。
市民は日々の生活の中で具体的なまちづくりへの取り組みを心待ちにしていると思います。実効性のある実践を心ある市民と共に行ってほしいと考えます。	ご意見として承ります。
今回の案内は図書館掲示のポスターでしか見ることができなかった。チラシのポスティング（市民の友にはさむ）などしてもよいのでは？	ご意見ありがとうございます。 多くの市民が参加できるよう、様々な媒体を活用することも検討していきます。
小学校、中学校の生徒さんも参加をよびかけてもよいと思います。	幅広い世代の方に参加していただけるよう、努めていきます。ご意見として参考にさせていただきます。
沖縄最大の問題は公共交通である。不便、それでいて乗客数は少ない状況である。	バス・モノレール等の公共交通機関の充実に向け市長へ要望していきたいと思います。

第4班：小祿地区（会場：小祿支所）

市民意見等（要旨）	議会（議員）の発言要旨及び補足説明
新しい宇栄原団地の駐車場について、5,000円は高いのではないかと。県と同じように3,200円でできないのか。	市営住宅の場合の根拠、県と比べての設定の仕方など、以前からも委員会で指摘していたということですから、もう1度調査し直して、返答していきたいと思います。 ※補足 後日当局へ照会したところ、「市営住宅駐車場使用料金については、国土交通省の通達及び市条例により、各市営住宅の近傍同種の駐車料金を勘案して算定しており、宇栄原市営住宅の駐車料金につきましても、宇栄原市営住宅を中心に半径500m以内にある15箇所の駐車場を調査し、平均額を採用し5,000円と算定しました。したがって、その料金設定については適正なものと考えております。また、市営住宅自治会長会議や、市営住宅建替事業における移転説明会等でも、駐車料金についての説明を行っております。」との回答がありました。
市民の参加者が少ない。せっかくこんなに議員さんが集まっているのに、もったいない。もっと違う形での発信の仕方方法もあるのではないかと。例えばネット中継するとか。	ネット発信している議会もありますので、課題はありますが参考にしていきたいと思います。
一部の地域で保育所の建設に対して反対があったり、認可保育所の中で100%子どもが入っていない園というのが結構あるというものが報道で出ていたが、実際はどうか。議会の中でそれについてどんな議論があったのか。	受入のところで細かなミスマッチがあった。たとえば5歳児のところは空いているけれど必要なのは2歳児や0歳児だったなどのケースです。 保育士を確保し待機児童解消、保育の質も保ちつつ、さらに向上させていくという内容を議会での質問にもあげています。
前回の報告会で出た質問に対する回答をお願いしたい。	前回の会場で出たご意見に対する補足説明を含めて発言の要旨を議会がまとめ、本日（報告会当日）別紙で配布しております。
校区まちづくり協議会について、小祿地域の現状、設置状況を教えていただきたい。	現在準備段階なものを含め、後日、ご報告させていただきます。 ※補足 これまでに与儀・石嶺・若狭・銘苅・曙・仲井真の6つの小学校区において校区まちづくり協議会が設置されている。現在は、小祿南小学校区と城西小学校区において校区まちづくり協議会の設置の要望があることから、協議会の設置に向けた準備会の立ち上げのための協議を進めているところである。

第４班：小祿地区（会場：小祿支所）

市民意見等（要旨）	議会（議員）の発言要旨及び補足説明
地域に特化した報告も必要ではないか。	今後、議員話し合って改善の方向で進めていきたいと 思います。
古い家の問題、もしくは空き家になった家の問題などについて、これまで議会の中では議論されたことがあったのかどうか、あったのであれば、どういったお話に今なっているのか、それから今後どうしようとしているのかといったことをお聞かせいただきたい。 空き家の情報について今後データベース化が進められていくと思うが、市民の方でも確認することはできるのか。	那覇市では、昨年の 12 月に条例を制定しています。那覇市空家等の適切な管理及び対策の推進に関する条例の中で、緊急に対処が必要な場合は市が対応できるというふうになっております。家主の責任なども網羅されています。 空き家の公表に関しては、所有者の個人情報の問題などがあり、現時点では明らかになっていません。 ※補足 市内の空き家情報の公開については、個人情報の保護はもとより、財産権の侵害にあたる可能性もあることから、現時点では対応していない。特定空き家(行政代執行の対象となるもの)については、今後公開の対象とするかどうか検討しているところである。
誰を対象に報告会をするかというのも課題ではないか。 買い物途中の若い世代とか、地域でやるんだったらやっぱり地域の話など、参加者のニーズに合った報告会になるようにするほうがいいのではないか。	ご意見として承ります。
家の周辺に野良猫がいて、近所の人が餌付けをしている。敷地内にフンをされて困っている。地域で猫を対策していく方法を考えていますか。	地域で猫を飼っていくときに T N R（避妊・去勢）をやって、排泄物もしっかり片づけていく。飼い方や、マナー、動物愛護ということも含め地域で考える会のようなものをつくり上げるなど考えていきたい。
アンケートより（要旨）	説明および今後の対応
参加者を集める努力をしてほしいと思います。	幅広い世代、多くの市民が参加していただけるような議会報告会になるよう努めたいと思います。
もっと多くの方にこの会を知っていただきたいです。	発信の方法も含め今後さらに議論していきたいと 思います。